



大会レポート YAMAGATA KYOTO HIROSHIMA TAKASAKI NAGANO TOKYO TOCHIGI WAKAYAMA KAGAWA SAPPORO

8月5日(水) 広島大会

延長の末の決着。広島大学優勝!



8月5日(水)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 広島』が、ミズノフットサルプラザ広島(広島県広島市)にて開催された。瀬戸内海の潮風が夏しさを感じさせるこの地には、16チームが集結。光る汗を拭いながら懸命にプレーしていた。広島では初となる「Fリーガークリニック」には、パルドラール浦安の星選手と藤原選手が講師として登場。共にフットサル日本代表ならではのレベルの高さを披露した。決勝戦は、長年アイデムカップに挑み続けてきた『広島大学 シャンパンの闇』と、初参加ながら善戦を見せてきた『広島修道大学 teamNAKAGAWA』。試合は、個人技を活かした『teamNAKAGAWA』が先制するも、後半に追いつかれ、延長戦へ突入。延長2分、相手の集中が途切れた一瞬の隙をついたのは『シャンパンの闇』。最後まで集中を切らさず、初優勝に向けて執念のゴールを決めた。

●優勝チーム 広島大学 シャンパンの闇 福島 海
チーム結成当初から、この大会の優勝を目指して何度も参加してきました。今回が最後のアイデムカップだったので、優勝できて本当に嬉しいです。メンバーは今4年生なので、普段は練習でやっているのは週に1回程度。それもあって、みんながすごくフットサルを楽しめていたのが、今回の勝利に繋がっていたように思います。1年生の頃から4年間にわたって積み上げてきたチームワークが、何よりも彼らの強みです! 今後は8月で就活が終わり、本格的に合宿も予定しているので、まずはそこでギアを入れていきたいと思います。そして中四国セントラルでも、フットサルを楽しむことを忘れずに、優勝を目指して頑張ります!



8月18日(火) 高崎大会

GKのコーチングが印象的。上武大学勝利!



8月18日(火)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 高崎』が、団円フットサルクラブ高崎(群馬県高崎市)にて開催された。抜けた青空と輝く太陽の下、田んぼに囲まれた一見のどかなシチュエーションだが、選手たちは真剣そのもの。各チームが熱い戦いを繰り広げ、沢山の汗を流した。「Fリーガークリニック」では、パルドラール浦安の深津選手と三木選手が登場。早速、教わったばかりの「ファー詰め!」などの掛け声が会場に響き、雰囲気をさらに盛り上げていった。総当りのリーグ戦で、優勝の可能性を残す『上武大学 ローマの祝日』と、前橋工科大学 MITの直接対決となった最終戦。実力が拮抗している両チームだけに、ロースコアでの試合展開となつたが、「ローマの祝日」が数少ないFKのチャンスをモノにして先制。貴重な1点を最後まで守り切り、「ローマの祝日」が全勝での完全優勝を果たした。

●優勝チーム 上武大学 ローマの祝日 小板橋 拓也
皆で協力して優勝できたことが一番嬉しいです。全員が勝利に対して貪欲になれたのが大きかったです。僕らは普段、フットサルサークルとして活動していますが、ユニフォームは海外のサッカーチーム「ASローマ」を意識しているので、少し揉って「ローマの祝日」という名前になりました。メンバーは面白い奴ばかりで、「チーム力」が優勝できた要因だと思います。Fリーガーの方ともお話しできて、考え方や意識の違いがゴイ勉強になりました。関東セントラルでは、ヨーリフトサルを知っているチームが上に行くと思うので、今日感じた刺激を活かして、まずは予選突破。そして優勝し、FINALを目指したいと思います。



8月22日(土) 栃木大会

無敗同士の決勝は白鷗大学に軍配!



8月22日(土)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 栃木』が、小山フットサルクラブエフスリー(栃木県小山市)にて開催された。雨予報が嘘のように熱い日差しが照りつける中、初開催のこの地に8チームが集結。開催地周辺にある小山高校や小山西高校のサッカー部OBチーム、地元大学の体育会サッカー部などが参戦し、活気あふれる大会となった。「Fリーガークリニック」では、パルドラール浦安の深津選手と山上選手が参加者たちに直接指導。2対1のトレーニングメニューを行った。決勝戦は、『白鷗大学 Puls ultra』と『文教大学 F.C.NUTS』の対決に、前に幸先良く先制した『F.C.NUTS』であったが、『Puls ultra』がすぐさま同点ゴールを奪う。そして迎えた後半、バースデーゴールを決めた石塚雄也の活躍により2点を追加。3-1で『Puls ultra』が逆転勝利を飾った。

●優勝チーム 白鷗大学 Puls ultra 石塚 雄也
楽しかしながらやった結果が優勝だったので、素直に嬉しいです。いつもプレーできる環境や周囲の人たちに感謝しながらボールを蹴っているので、日頃の行いが今日の結果に繋がったのかもしれないですね(笑)。僕自身、バースデーゴールを沢山決められたのも大きかったと思います。今回、Fリーグの方と関わってみて感じたことは、常に勝ちにこだわり、考えながらプレーしているということです。この大会では、フットサルを通じて輪が広がったので、すごく良かったです! 関東セントラルでは、他のチームと比べて実力はないかもしれないけれど、常に正面からチャレンジして、勝ちにこだわっていきたいと思います!!

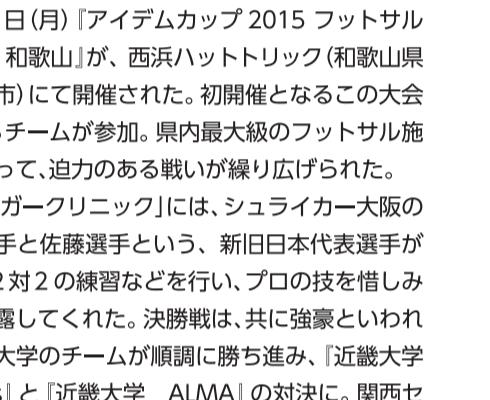


8月24日(月) 和歌山大会

近畿大学の1-2フィニッシュ! 2014ファイナリスト敗れる



8月24日(月)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 和歌山』が、西浜ハットトリック(和歌山県和歌山市)にて開催された。初開催となるこの大会には、8チームが参加。県内最大級のフットサル施設を使って、迫力のある戦いが繰り広げられた。「Fリーガークリニック」には、シュライカーダ阪の村上選手と佐藤選手という、新旧日本代表選手が登場。2対2の練習などを行い、プロの技を惜しみなく披露してくれた。決勝戦は、共に強豪といわれる近畿大学のチームが順調に勝ち進み、『近畿大学 Genius』と『近畿大学 ALMA』の対決に。関西セントラル決勝レベルの対戦カードだったが、圧倒的な強さを見せたのは『Genius』。個人技と華麗なパスワークで2点を奪い、リードを広げた。終了間際、『ALMA』が1点を返すも、落ち着いた試合運びで2-1のまま試合終了。関西セントラルの優勝候補に名乗りをあげた。



8月19日(水) 長野大会

守り重視の戦術的中。信州大学の逆転劇!



8月19日(水)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 長野』が、MAX フットサルクラブ(長野県長野市)にて開催された。全国で猛暑が叫ばれる中、早くも夏の暑さが和らぎ始めたこの地に、12チーム93名が参加。残り少なくなった東海・北信越セントラル出場権を目指した。「Fリーガークリニック」には、パルドラール浦安よりおなじみの深津選手と日本代表のエース星選手が講師として参加。ビッショ当てを中心としたメニューで熱血指導を見せてくれた。決勝戦へ駒を進めたのは、地元『信州大学 fcみのる』と、新潟からの遠征組『新潟医療福祉大学 みつきーず』。試合は『みつきーず』が先制したが、後半に入ると『fcみのる』が地元の意地を見せる。そして『fcみのる』のキャプテン石坂が同点にすると、勢いそのままに強烈なミドルを叩き込み、ついに逆転。東海・北信越セントラルへ名乗りを挙げた。

●優勝チーム 信州大学 fc みのる 石坂 優明
まさか優勝できると思っていたいなかったので、本当に嬉しいです。優勝できた要因は、一人ひとりが仕事をサボらず、一致団結できたことですね。僕らのセールスポイントは、経験者・初心者に問わらず、全員が楽しんでプレーしていること。また、自分がいるのといないのとでは、ガチになるか、おふざけになるかが変わってしまうくらい違うんですね。また自分がいるとおふざけになっちゃうんですけど(笑)。でもそれがチームの雰囲気を良くして、結果が出たってことにしておいてください! 東海・北信越セントラルは強豪揃いだと思いますので、残された時間でしっかりとトレーニングに取り組み、万全の態勢で臨みたいと思います!

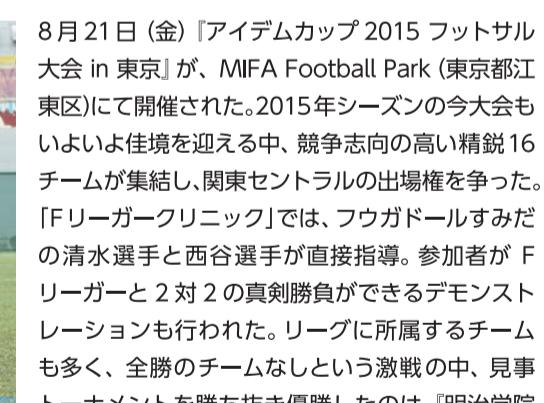


8月21日(金) 東京大会

ボール支配率の差か? 明治学院大学快勝!



8月21日(金)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 東京』が、MIFA Football Park(東京都江東区)にて開催された。2015年シーズンの今大会もいよいよ佳境を迎える中、競争志向の高い精銳16チームが集結し、関東セントラルの出場権を争った。「Fリーガークリニック」では、ワガドールすみだの清水選手と西谷選手が直接指導。参加者がFリーガーと2対2の真剣勝負ができるデモンストレーションも行われた。リーグに所属するチームも多く、全勝のチームなしという激戦の中、見事トーナメントを勝ち抜き優勝したのは『明治学院大学 SA fugaria』。日頃の練習で培われた確かな技術力と攻守の切り替えは压巻で、初出場・初優勝の快挙を成し遂げた。準優勝には『早稲田大学 犬猿キッカーズ』、第3位には『法政大学 FC greed』が輝き、この3チームが関東セントラルの切符を手にしました。



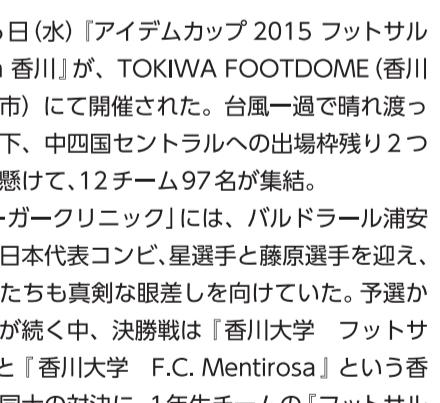
●優勝チーム 明治学院大学 SA fugaria 鈴木 浩貴
アイデムカップには初参加でしたが、優勝してピックりしていました。結果を残せ嬉しいですね。僕たちは今年の4月からチームのスタイルを思い切って変え、皆で会話する機会を増やしていました。そのことが強気に繋がったと思います。普段は都リーグで勝つために、週3回2時間半、真剣に活動しています。キーマンは14番の鈴木浩貴ですね。有言実行で思ったことをきちんと伝えくれるので、彼の存在がチームの向上心に繋がっています。今回、Fリーガーと関わって本当に嬉しかったし、沢山話せました。この経験は、きっと今後も繋がると思います。次は予選で多かったミスをなくし、関東セントラルで優勝を目指します!

8月26日(水) 香川大会

初開催! 初代王者は香川大学に決定。



8月26日(水)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 香川』が、TOKIWA FOOTDOME(香川県高松市)にて開催された。台風一過で晴れ渡った空の下、中四国セントラルへの出場枠残り2つの座を懸けて、12チーム97名が集結。「Fリーガークリニック」には、パルドラール浦安所属の日本代表コンビ、星選手と藤原選手を迎えて、参加者たちも真剣な眼差しを向けていた。予選から接戦が続く中、決勝戦は『香川大学 フットサル部』と『香川大学 F.C. Mentirosa』という香川大学同士の対決に。1年生チームの『フットサル部』に対し、4年生チームの『F.C. Mentirosa』が経験の差を見せつけ、効果的にゴールを奪い2点差とする。最後まで諦めない『フットサル部』も、終了間際に1点差と追いつがるが、2-1のままタイムアップ。『F.C. Mentirosa』が香川大会チャンピオンとなった。



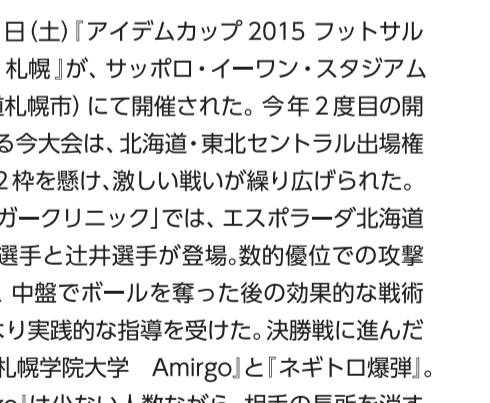
●優勝チーム 香川大学 F.C. Mentirosa 小清水 新之助
優勝でき本当に嬉しいです。仲の良いメンバーが集まっているので、そのチームワークの良さが勝因だと思います。僕たちは、ほぼ4年生でサッカーサークルを母体としていますが、フットサル部を引退したメンバーも多数在籍しています。チームとしての活動はしていませんが、それぞれのメンバーが社会人チームなどの所属チームでプレーしており、互いに刺激合っています。中でも注目して欲しい選手は、7番の津田直幸ですね。彼は何でも出来るユーティリティプレーヤーなので、頼りにしています。これから目標はFINALに出場すること。そのためには、まずは中四国セントラルでの優勝を目指して頑張ります!

8月29日(土) 札幌大会

快勝! 強豪揃いの札幌を制したのは札幌学院大学



8月29日(土)『アイデムカップ2015 フットサル大会 in 札幌』が、サッポロ・イーワン・スタジアム(北海道札幌市)にて開催された。今年2度目の開催となる今大会は、北海道・東北セントラル出場権の残り2枠を懸け、激しい戦いが繰り広げられた。「Fリーガークリニック」では、エスボーラー北海道の水上選手と辻井選手が登場。数的優位での攻撃の形や、中盤でボールを奪った後の効果的な戦術など、より実践的な指導を受けた。決勝戦に進んだのは、『札幌学院大学 Amirgo』と『ネギトロ爆弾』。『Amirgo』は少ない人数ながら、相手の長所を消す戦い方を徹底し、試合を優位に進めました。その結果、2-0で『Amirgo』が優勝。見事、札幌大会の王者に輝いた。北海道・東北セントラルでは未だの相手との試合になるが、今回のように得意なスタイルを発揮することが出来るのか、引き続き注目していきたい。



●優勝チーム 札幌学院大学 Amirgo 水上 皓太
「大好きな仲間と優勝すること」を目標に参加しました。有言実行で成績がいいらしいです! 今回はFリーガーの方に教えて頂いたり、他大学の人とも交流できたり、とても充実していました。優勝できた要因は、まさしくチーム仲の良さにあったと思います。これはどのチームにも負けません! また、自慢のキャラが僕達にはついています。今大会でも全試合トータルでたった1の失点。彼がチームの支えとなり、僕達も攻めることに集中できました。次のセントラルでも絶対に優勝できるよう、チーム一丸となって頑張ります。北海道外へ勝ち上がるるのは初めてなので、名古屋観光も目標にして仙台に行ってきます!!

